

平成29年度 第4回 豊見城市総合教育会議 議事録

1 開催日時 平成30年1月18日(木) 午後3時00分から

2 開催場所 豊見城市役所 2階 第2会議室

3 議 事

(1) 平成30年度当初予算案について

(2) 豊見城市いじめ問題専門委員会の状況について

4 出席者

[構成員] 市長 宜保晴毅 教育委員 新垣一美
教育長 照屋堅二 教育委員 荷川取幸代
教育委員 国吉昇 教育委員 安里基

[関係者] 学校教育部長 平田真一 生涯学習部長 宜保直弘
学校施設課長 国吉有貴 生涯学習振興課 赤嶺健
学校教育課参事 大湾悟 文化課長 當銘純治
学校給食センター所長 知念清
福祉部長 當銘健
保育幼稚園課長 高安哲也
保育幼稚園課参事 奥濱真一

[事務局] 学校教育課長 赤嶺太一
学校教育課総務班長 大城竜也

第4回豊見城市総合教育会議 議事録

<p>学校教育課長</p>	<p>平成30年度の当初予算案が昨日、一次内示額が出ています。主に実施計画に基づいたところでの大きな事業についてというところを説明しながら、あと、いじめ問題の新聞記事等を説明いたします。議事の進行につきましては、市長が招集して会議を行うことになっておりますので、進行のほうを市長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長(市長)</p>	<p>改めまして、こんにちは。今、太一課長からございました、平成29年度第4回豊見城市総合教育会議を開催しましたところ、お忙しい中ご出席賜り誠にありがとうございます。私のほうで進行をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それではさっそく、議事(1)平成30年度当初予算案について、事務局の説明をお願いいたします。</p>
<p>保育幼稚園課長</p>	<p>こちら保育幼稚園課のほうから進めたいと思っております。</p> <p>1ページ目の幼児教育の充実のほうをごらんください。(1)教育プログラムと施設の充実ということで、事業名が認定こども園施設整備事業補助金ということで、一次内示額が3,347万4,000円あります。こちらにつきましては、市立幼稚園を幼稚園型認定こども園へ変更するため、必要な施設改修を行うということで書いてあるのですが、具体的にお話ししますと、長嶺幼稚園と伊良波幼稚園が今3クラスずつしかないため、複数年保育でも厳しい状況にありますので、その2園をあと1部屋ずつ増やして、複数保育ができるように施設整備をしていきたいと思います。</p> <p>次に(2)なのですけれども、特別支援教育による就園支援ということで、事業名が特別支援教育支援員配置事業。こちら一次内示額が3,232万8,000円。概要としましては、市立幼稚園において、特別支援教育支援員が対象児の実態に応じ、個別または複数配置で支援を行うということで、支援員の配置の予算でございます。こちらについては、16名分を予算計上しております。以上でございます。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>引き続き、義務教育の充実を学校教育課のほうから説明していきたいと思っております。</p> <p>(1)教育プログラムの充実につきましては、外国人英語教師配置事業、ALTの方ですね。外国人の先生方ということなのですけれども、来年度はちょっと1名を減らして、中学校3名、ALTを配置しをして、小学校を巡回していた先生を1人減らして、次の授業、小学校英語活動講師派遣事業ということで、今、教育指導要領の改訂に伴って、小学校</p>

の英語授業が正式教科化されます。それで時間数が徐々に増えていきますので、小学校に国際英語センターの先生、日本人の英語の先生が行って、英語の授業を先生と一緒に進行していくという形をとっていますので、そこを充実させるために、そこに集中するためにそういった取り組みをしてきたいと。時間増の分、増えていくという形になります。

学力向上推進補助員につきましては、以前と同様な形での配置になるかと想定しておりますが、2,760万7,000円です。

次に、情報教育補助員派遣事業につきましても、同様に606万3,000円で、各学校を巡回して、小学校のパソコンのキーボードの打ち方とか、マウスの使い方を指導する指導員を置いて、図っていききたいというふうに思います。

次のページを開けていただいて、児童生徒派遣費補助金につきましては、これは2つ同様なものがありますが、学校、中学校の所管に関することは中体連とかそういった、この学校の行事と直結した形でのものについてはうちの所管になっていきますけれども、例年通りで計上なされているところでございます。

一つ、この後の次のほうは飛ばしまして、(2)教育施設・設備等の充実ということになっております。ここは今回、大きなところでございますが、前の教育委員会議でも説明したかと思いますが、先生方の業務改善の一環として校務支援、要するに成績をつけたり、生徒の管理をしたりするシステムを導入することになっております。これに伴いまして、今回全先生、担任を持っている先生に対してパソコンを支給していくという形になっておりますが、7,900万円ですね。これは、全体でいうと500台、今年度今ちよっと予算をとっているものがありますので、これと内示額の7,900万円で計500台導入をして、先生の業務改善に努めていくという形になっております。

その次のIT資産管理ソフトというのは、基本的に教育委員会、こういった成績だとか、個人情報にかわるものがパソコンに入ってきますので、それに関してのセキュリティーを上げるために、IT資産、まずはコンピューターだとか、USBだとかそういったものも管理するソフトを、違法にコピーをしたり何とかそれができないような形での整備をしたいと思っております。それに関する予算です。

あと、学校図書館管理システム整備事業。下の方ですけれども、500万円。これは、これまで学校図書館でピッピッして本を借りるシステムなのですけれども、老朽化していたところを今度センシングをして、最新型に変えていくということになっていきます。大分のご配慮いただいて

つけていただいたものです。併せて、ここには書かれていないところであるのですけれども、各学校ごとの学校図書についても、平成29年度で750万円だったものが1,000万円に拡充されて、学校図書費についても現時点では拡充の方向が見えているということでございます。

次に、理科備品整備事業につきましては、1,000万円。これは、理科とか数学の備品について購入する事業でございます。これは例年どおり、1,000万円ついているものです。

続きまして、学校版ネットワーク構築。これは、先ほどの校務用PC整備事業に関連をいたしまして、今いずれにしてもこの校務支援システムについてもネットワークを使って、外のネットワーク、システムが入ってるサーバーにアクセスするようになっていきますので、安全な回線を確認しないとイケないということで、それに関する関連と、併せて今はインターネットの利用が大分利用頻度が高くなって、回線が細いということがあって、少し動画が遅いとか、回線が遅いというような話がありましたので、そこも併せてこれを入れるということで解決していきたいと、こういった予算がついています。

では、次のページを開けていただきまして、学校教育課のほうを先にしていきたいと思っております。ページ下のほう、(4)家庭や地域との連携です。スクールソーシャルワーカー配置事業につきましては708万円ということで、同様に各中学校区に1人ずつスクールソーシャルワーカーを配置して取り組んでいくということになっております。

次に、5番目のほうです。個に応じた支援体制の充実ということで、特別支援・教育支援員配置事業ということになっております。現時点では予算を大分とっているのですけれども、去年、今年もとっているのですが、定員を満たせていない状況があって、少しこの現実的に合わせた形で、雇用できる人数で若干減額しておりますが、おおむね今年と同じような状況で、定員が確保できるような予算が確保されているところでございます。

次、開けていただいて、4ページです。適応指導教育学習支援補助員配置事業、502万1,000円。これにつきましても従前のおり、これはとよみ教室ですね。総合グラウンドの下のほうにある教室です。学校に通えない子どもたちが通って、不登校にならないような形での支援をしていくという話ですけれども、このものについては、配置事業について予算はとれています。

あと、下の登校支援員配置事業についても同様にしております。今確保に向けて、まだちょっと満たせていないところもありますので、そこ

	<p>も含めて今頑張ろうと思っています。</p> <p>次に、学習支援補助員配置事業につきましても、同様にとられているところでございます。</p> <p>次に、子育て環境の充実。子どもの貧困対策事業です。就学援助補助事業につきましては、先ほど定例教育委員会のほうでも出ましたが、トータルで言うと9,739万2,000円。要保護、また給食費の拡充分も含んで、このようになっているところでございます。引き続き、全国的に取り組んでいくものになっているところでございます。</p> <p>学校教育課に関するところは以上でございます。学校施設課、解説をお願いします。</p>
学校施設課長	<p>それでは、学校施設課のほうにかかる予算概要を説明します。</p> <p>3ページをお願いします。3ページの一番上のほう、上田小学校改築事業ということで、今行われている事業に引き続き、平成30年度はグラウンドの整備工事と、外構の整備工事と、付帯設備の整備工事、あと施工管理の費用として4億4,037万1,000円を計上しております。</p> <p>それから、次の豊見城中学校改築事業。これも今年度から工事を着手しておりますが、平成30年度は校舎の改築事業工事費と、お隣の運動場の改築工事費と、柔剣道場解体工事費と、外構整備工事、磁気探査、施工管理等の費用として、23億3,413万3,000円を計上しております。</p> <p>それから、小学校・中学校のエアコン整備事業ということで、平成30年度は、この年度から解体工事を行う上田小学校から出てくる業務用のクーラーの移設に伴って、上田小学校に25教室、伊良波中学校に12教室、長嶺中学校に13教室のクーラーの整備を、設置を予定してまして、その費用として3,592万5,000円を計上しております。学校施設課の主な予算概要は以上です。</p>
学校給食センター所長	<p>では、学校給食センターの説明をします。</p> <p>3ページです。中段のほうなのですけれども、(3)学校給食の充実ということで、事業としては、調理場施設整備事業に取り組むものであります。平成30年度は調理場内部の天井、壁の舗装工事を行うものであります。それをもって衛生管理の向上に努めるもので、給食の安全・安心な提供を行うものであります。以上で終わります。</p>
生涯学習振興課長	<p>生涯学習振興課の説明をいたします。</p> <p>2ページ目をお願いいたします。上から2番目の、先ほど学校教育課からありました児童生徒派遣費補助事業です。中学生の部活動以外の補助金となっております。</p> <p>次に、5ページ目をお願いいたします。5ページの一番下のほうです。</p>

	<p>スポーツレクリエーションの振興ということで、豊見城総合公園体育施設機能強化事業。こちらは総合グラウンドのトラック部分を全天候に張りかえまして、一流アスリートの強化合宿誘致、観光客増、地域活性化につなげる事業となっております。</p> <p>次のページ、6ページ目をお願いいたします。国際交流の促進ということで、次年度も引き続き豊見城市青少年国際交流事業ということで、市内の中学生を海外のほうに派遣する事業を行います。以上でございます。</p>
文化課長	<p>続きまして、文化課のほうのご説明をします。</p> <p>4ページをお願いいたします。地域文化振興。歴史的・文化的資源の保全・継承ということで、組踊継承事業 組踊「雪払」上演事業を予定しております。費用としては、512万2,000円。これについては、本年度雪払の台本の修正を行っております。それに基づいて文化協会の委託をして、プログラムを開催していきたいというふうに思っております。</p> <p>次に、埋蔵文化財確認調査事業です。豊見城市城跡公園の中の埋蔵文化財の調査を行うことになっています。費用が2,732万3,000円でございます。</p> <p>次に5ページを開きまして、この埋蔵文化財の調査でございまして、現在城跡公園内に予定されている沖縄県産業振興拠点施設の建設予定地で、埋蔵文化財の調査がさらに必要になったということで行うこととなっています。費用は2,384万4,000円でございます。</p> <p>次に、龕修復事業。これについては、今年度饒波からいただいた龕のレプリカを作成しております。それに基づいていただいた龕を完全に修復をして、地域独自の民族・祭祀・葬制といった継承に向けて、展示室で個展を開催するなどを行っていきたくと考えております。</p> <p>次に、この市史の調査と記録ということで、豊見城市史第5巻「社会と文化・教育編」の費用で、624万円となっています。この内容は、主に戦後沖縄の社会・文化の変容について調査や資料収集を行い、発刊することにより、豊見城市の社会情勢や歴史を後世に伝えるということでございます。</p> <p>次に、事業名は豊見城市戦争体験等映像化事業。これについては平成29年、今年度に引き続きまして、沖縄戦を含めたアジア太平洋の体験者を募って、個々の証言を映像化にして後世に伝えるということでございます。費用が524万6,000円となっています。</p> <p>次に、生涯学習社会の確立。生涯学習体制の充実ということで、図書館システムの更新事業でございます。これについては、図書館のほうで</p>

	<p>使っているシステムを平成30年度から更新をして使っていきたいということでございます。費用は752万2,000円でございます。</p> <p>以上が文化関係の内容でございます。</p>
議長(市長)	<p>今、各課から説明がございました。今回大きな目玉としては、総合グラウンドの全天候、予算が付いたことですね。あと、今経済が非常に順調なことから人手不足がどの分野でもありまして、ここでは見えていないのですけれども、臨時の賃金を上げる予定であります。私は、今年度は支援員も含め、預かりの職員とか、全然足りない状況が続いておりますので、少し賃金を上げる予定であります。</p> <p>あと、教育委員の皆さんのご理解を得て、教育委員会の方針、クーラーの今度の方針を教育委員会として見直して、全教室にクーラーを設置していこうということで、教育委員会が方針を転換したことから今回、先ほど説明があった伊良波中学校、まずは全中学校の教室にクーラーを設置ということになっていきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、質問のある方どうぞ。</p> <p>文化課長、工芸の柱の文化財発掘調査というのはもう終わったのかと思ったのですけれども、これからなのですか。</p>
文化課長	<p>今年度確認調査をしたところ、再度細かい調査が必要ということになって、県の委託金を受けて今年度さらに調査をするということでございます。</p>
議長(市長)	<p>ということは、2月ごろ建築がスタートすると言ったのですけれども、もう遅れるわけですね。</p>
文化課長	<p>その辺の話については、今現在は5月ごろ着工ということは聞いておりますけれども。</p>
議長(市長)	<p>ではそれまでに調査を？</p>
文化課長	<p>我々も4月に県のほうに交付申請を受けて、早期に調査のほうは進めていきたいということでございます。</p>
生涯学習部長	<p>全体調査をしたのです。そこの中の建物にかかる部分の一部分に、端っこのほうなのですけれども、そこにはもっと重要な調査を進めたほうが良いという遺物が見つかったものですから、その部分はそれで進める。残りはもう別に見つからなかったもので工事は進めていいと思います。ただし着工は全体的にしか着工しないと思うので、無理だと思います。</p>
国吉委員	<p>質問、すみません。学校教育課のほうにお願いします。今ALTについての説明がありましたけれども、今は各中学校に1人ずつの3名と、小学校全体に2人ということでした。これが1人、小学校は減になって、</p>

	その後の小学校については何名居ることになりますか。配置は。
学校教育部長	何名ではなくて、授業のこま数に合わせて、学級数であったり、そういったものに応じて対応できる法人のほうから先生が派遣されて来るという。
学校教育課長	トータルで何名かというところではなくて、その時間数の増に応じて、その事業ごとに。
教育長	五、六年生は35時間だったかな。
学校教育課長	はい。
教育長	4年生が25時間でしたか。
学校教育課参事	15時間です。
教育長	こういうふうな時間。
国吉委員	これは派遣されるのは…、もう一度、どこからということですか。
学校教育課長	国際言語センター、NPO法人です。
国吉委員	国際言語センター。では、市の雇用ではない？
学校教育課長	委託事業です。
国吉委員	委託事業ということで、その計画に応じて派遣されるということですか。
学校教育課長	はい、そうです。
国吉委員	では、特定の人ではないということですか。
学校教育課参事	学校は基本的には、小学校は例えばまず最初から1年間やるというのは特定されているのですけれども、その1人が今、授業を見ている。
国吉委員	この学校を。
学校教育課長	はい。毎回人物が変わるわけではない。
国吉委員	ではない。
学校教育課長	はい。授業の展開もありますので、そういうことです。
国吉委員	はい、わかりました。
議長(市長)	ほかにございませんか。
新垣委員	これに関連して、今思いつきなのですが、これって三、四年生から五、六年生まで？
学校教育課参事	これについては、学校の要望に応じて英語の総合的な部分で加えたいというのであれば、一、二年も含めて対応を。1時間、2時間を、こういうことで5時間程度は可能かと。
新垣委員	ちょっといいですか。全ての課で本当に引き続きのものがありますし、新たに画期的な予算の配慮がされていてすごいなと思って見ていた

	<p>のですけれども、一番最初のほうからちょっと質問させてください。</p> <p>認定こども園施設整備のための長幼、伊幼のクラス増ということで、4クラスを設置するということであるのですが、これは5歳児が何クラス分ということで踏まえて、どういうふうに想定してのクラスですか。</p>
保育幼稚園課長	5歳児を2クラスとって、これを3歳、4歳で1クラスということで。
新垣委員	1クラスずつ。3歳1クラス、4歳1クラス。では、基本的にこの平成31年度からは、伊良波幼稚園も長嶺幼稚園も3年保育が実施されるということで、認定こども園で。
保育幼稚園課長	そのことを考えてやっているのですけれども。
新垣委員	では、5歳児で入園を希望する子が2クラス以上になった場合。それも市のこの統計でもう全て把握して、2クラス分だろうなという想定での教室数ですか。入れない子はいないだろうということですか。
保育幼稚園課長	3歳でできるかどうか、ちょっとまだ、全てではできないかもしれないのですけれども。
新垣委員	あ、なるほどね。5歳児が増えたら、5と4に抑えるという想定なのですね。わかりました。入れないという子がいないようにと思ひまして。ありがとうございます。
議長(市長)	ほかにございませんか。
荷川取委員	<p>1ページですが、情報教育補助員派遣事業の件について、前もちょっとほかの場でお話したかと思いますが、現在配置されるべき人数は3人。2名しか派遣されていない状況ですよね。それで、前もちょっとそういうことに触れたことがあるのですが、やっぱり3名必要なのか。今、学習の内容だと、マウスの使い方とか、こういう簡単なものという話もありましたけれども、ほとんどの教職員、先生方がある程度今はできるかと。支援員の方が本当に全く初めての方が採用されたりしていますよね。それで必要なのかということを私は毎回気になって、この事業の人数を減らして、どこかに必要な配置することができないのかと。現状はもう先生方はほとんどこういうことはできるので、指導をできるかと。もちろんいらしたらすごくありがたいのですが、ほかに回せないかなというのが1点。今のこの予算は3名分という形なのです。これが1点です。</p> <p>もう1点は、3ページの(5)に個に応じた支援体制の充実と書いてあるので、どういったものかな、学力向上についてかなとちょっと思ひましたら、事業名は特別支援・教育支援員配置事業なので、1ページで</p>

	<p>保育幼稚園課の出された特別支援教育による就園支援というふうにかかれているのですが、これと内容は事業名は一緒になっているのですよね。それで、私は小学校のほうに、中学校もそうですが、特別支援に関することはないのかなとずっと思って中身を見たときに同じでした。そこが個に応じた支援体制というふうに、充実と書くのが学力向上補助員との関係があるのかな。どの子にも、その子に応じた、個に応じただったらそうなのかなと思ひまして、特別支援教育と打ったほうがいいのかということを感じたので、これは意味があるのかどうか、その点を教えていただきたいと思ひます。以上です。</p>
学校教育課長	<p>1点目の情報支援員につきましては、まずは検討させていただきたいと思ひます。依然として、派遣要望としてあたりもしますので、そこの兼ね合いを少し考えていきたいと思ひます。</p> <p>もう一つの、3ページの下(5)個に応じた支援体制の充実という文言ということですが、実際は豊見城市の総合計画の後期計画の柱の中の施策として、このような文言の使い方がされていて、その柱立てで組み立てがなされておりますので、そういうことで幼児教育のほうと分かれている。柱立ても総合計画で、幼児教育の充実と義務教育の充実の中での、この個に応じた支援体制の充実と、交互する形で整備がなされている状況というふうになっておりますので、こちらでつくったわけではなくて総合計画の中でも位置づけがなされていて、その中でそういった決定がなされている。これは柱立てになっているという理解をしていただきたいと思ひているところです。</p>
荷川取委員	<p>ありがとうございました。</p>
議長(市長)	<p>ほかにございませんか。よろしいですか。</p> <p>続きまして、(2)豊見城市いじめ問題専門委員会の状況について。事務局、説明をお願いいたします。</p>
学校教育課参事	<p>別紙資料2、こちらをごらんください。前回の第3回豊見城市総合教育会議以後について説明させていただきたいと思ひます。</p> <p>以後については、第23回第三者委員会がございました。新聞資料になります、11月13日に行われました。9月から10月の第三者委員会が、各家庭、当時の4年生、5年生にアンケートをとった後、新たにまたいじめ情報について、1人に聞き取りを行うと確認したということで報道されております。それから、下のほうに「いろいろな人を傷つけるけん騒があったことについても報告書で言及したい」と主な内容はこの2点が主な内容になっております。</p> <p>それから第24回、12月5日に行われました。これについては、併せて</p>

	<p>聞き取り調査が行われています。教員1人から自殺を防げなかったのか、将来への教訓などについて聞き取り調査が行われている。その段階で来年ですから、今年の3月末までに答申をしたいということが報道されております。</p> <p>次のページをごらんください。第25回、12月23日に行いました。この中で委員長のポイントとしては、判断と代弁ですから、今年の3月30日に児童の通っていた小学校の自治体の教育長に、いじめの有無などの事実関係や再発防止などをまとめた報告書を答申するという事となされています。</p> <p>今後予定としては、1月24日に第三者委員会が行われて、2月議会、3月答申を含め3回予定されております。以上で、ご報告を終わります。</p>
議長(市長)	これについては、新聞報道とほぼ一緒ですね。
学校教育課参事	はい、そうです。
議長(市長)	ということでございますが、質疑のある方どうぞ。 次回の総合会議はいつごろ予定を？
学校教育課長	現時点ではちょっと決まっておりませんが、多分予算が確定というか、おおむね決まった段階ぐらいのタイミングで。
教育長	年度内に1回？
学校教育課長	年度内に1回、必要に応じて議論をしていきたいと思っております。
議長(市長)	じゃあこの結果が出る前に、もう1回。
学校教育課長	<p>そうですね。年度内に。</p> <p>必要があれば開催しますが。あと予算については、次はもう定例教育委員会の中で予算の説明とかをしていって、確定をさせて、報告を受けてという形に多分なるかなと。</p> <p>補足ということなのですが、では報告書が出た後、どうなるのかというところが、多分ご懸念のところがあるかと思っております。30日に答申をいただきましたら、ご遺族の方には当然報告書を早急にお渡しする必要があるだろうと思っております。お渡しするのと併せて、ご遺族のほうから、この報告書を市長に報告しないといけないものですから、その際に意見としてご遺族の方の意見を付けることができるという、その何かに回した上で付けますかということ、付けた期間を置いた上で付けて、市長に対してこの報告書を報告するという事になっております。それを踏まえた上で、市長として、市長部局として、再調査をするのかということも含めて判断をしていく。それ以降については、</p>

	<p>場合によってはありえることですが、そこまでは対応としてそういったことが想定されているということです。</p>
議長(市長)	<p>今、遺族の意見を受けての答申になるのですけれども、この答申の内容、あるいは遺族がその答申に納得しなかった場合、あるいはこの答申に私が納得しなかった場合ということで、また枝分かれに。再調査なのか、あるいはもう裁判なのかということになっていくのかと思っています。</p>
荷川取委員	<p>すみません。聞きにくいことなのですが、第23回、第24回の中で、1人に聞き取りを行うと確認して行いましたよね。これは担任なのか、それとも同じ職員の中に2回、前も調査したかなと思うのですが、再度またもう1回同じスタッフが含まれているのかどうか。</p>
教育長	<p>今は、人を誰がどういうふうに対応したかについては、教育委員会自体は把握はしておりません。教育委員会に対して、誰々を聞き取りしたとかそういうものは全くなく、第三者委員会は第三者委員会独自の運営でやっていって、そういったふうにはしているのです。ですから先ほどの内部については把握していないというふうになります。</p>
荷川取委員	<p>というのは、1回目にやって、2回目にいじめがあったと認めてという形かなと思ったので、同じ方が変わったのかと思ったので、気になったのです。</p>
教育長	<p>内容については、第三者委員会が独自に取り組んでいて、私どもが把握することはありません。</p>
議長(市長)	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、その他であります。私のほうから今年度いろいろ教育会議の中でも皆様にお伝えしたのが、働き方改革ではないですけれども、夏休みのあり方、これについて南部広域行政組合、そこには島尻事務所も中にあるのですが、その仕事納め式がありまして、その場で教育委員長、所長初め、島尻教育員事務所の皆さんに、私はこういう夏休み改革をすべきではないかという考えを伝えました。できれば南部は一つということで、電子黒板のときにもそのことはお願いしてきたのですけれども、ぜひ一緒に検討してほしいというお願いはしました。いろいろ課題もあると思いますが、やはり前に言ったように、教師の多忙化を平準化できないのかとか、あるいはもうクーラーを設置するわけですから、夏休みをこんなに長くしないで、短くすることで、給食を食べられない期間が短くなることで、こどもの貧困対策にもなるのではないですかということも伝えておりますので、教育委員会としても教育委員会の皆さんのいろんな知恵を出していただいて、ぜひ夏休みの改革をしていただ</p>

	<p>きたいと思っています。あと、フッ化物洗口についても学校でということで、ちょっと教育長に伺います。</p>
教育長	<p>まず、今、市長がおっしゃっている夏休みというよりは、2学期制の検証と今後の学期制のあり方については委員会を立ち上げていまして、それで議論をしているので、その概要の状況について説明してもらった後で、フッ化物洗口についても取り組み状況の説明をしてありますから、それで。</p>
議長(市長)	<p>はい、お願いします。</p>
学校教育課長	<p>今、学期制審議会ということで、2学期か、2学期の検証と、次にどういう学期制であるべきかということで議論を深めているところです。去年に引き続き今回も保護者と先生方のほうにアンケートをとって、今、集計をしているところです。その中で当然市長がご指摘になっている、この長期休暇をちょっと短くして、どうしていくかということも含めて、キッズウィーク等、国が進めているような夏休み以外、休みを設けてということも含めてアンケートの中に入れて、今その傾向を、先生方はどう思っているのか、保護者がどう思っているのか、今まとめているところです。今月にまたもう1回審議会がありますので、そのタイミングでは報告をしてこのアンケートと、あと私、学習指導要領が改訂になって時間数がさらに増えていくという状況と、またほかの状況も踏まえながら、どのような形が可能なのか。今具体的な検討をして、例えば2学期制のままで行くのか。もしくはちょっと3学期、例えば例としては2学期制なのだけれども、保護者の要望が多い成績表を夏休みまでの短い1学期と、夏休みを挟んで長い2学期にしようか、新2学期制にしようかとか、3学期制に戻そうかとか、3学期制にしようかとか。あと、またその2学期のよさを取り入れた形での新3学期の形にしようかとか、幾つかのパターンを示しながら議論をやるということ、その準備を進めている。その中で、当然時間数がどうしても小学校は英語が純粹に増えていく分、どのように解消していくかということと、今、余裕があると言われていところでも実際は補習とかに使われているという現状があるようですので、そこら辺もどのようにバランスを見るかということに審議委員会としては、先生方、あと保護者、そういった内容に入って今議論を進めているところでございます。今月、来月ぐらいにおおむね審議委員会としての動向、方向性がいいよねというような内容を、今、見極めをしていくような動きになっていると理解しています。</p> <p>フッ化物洗口につきましては、今2校程度モデル校を、具体的にとよ</p>

	<p>み小学校と座安小学校の2校ですね、南部保健所のフッ化物洗口に関する補助金、助成がありますので、薬品やコップがもらえるという3年間の事業がありますので、そこを受けて、実施の動きを進めているところでございます。ただ、一部においては沖教組含めて、これは危険だと、反対だという形で発言があったり、先日新聞では、これはちょっとやるべきではないのではないかとというような論文が張られているので、若干ちょっとそこも含めながら、学校医へ出向いて、学校歯科医の方とも協力をして進める方向で今調整を進めているところです。</p> <p>先週、宜野湾の大謝名小学校が1月から始めるということで、どのように進めたのかということをおちょっと視察してまいりました。豊見城市教育委員会としては、虫歯をどうにかしていきたいということで、フッ化物でよくしていくという動きを進めているという大変参考になる動きでしたので、これを踏まえて今具体的に小学校にアプローチをかけてるところでございます。以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>小学校の学習指導要領の改訂が平成32年から始まるのですけれども、1番目に週29時間となっていて毎日6時間、1日だけ5時間という状況が見え隠れしたりして。そういうのもあって新しい学期制の検討に当たっては、新学習指導要領についても踏まえて検討していかないと、この議論を深めていくのは難しいだろうと、内容がですね。今、審議会で議論をしまして、審議会は独立した団体ですので、しっかりそこで十分議論していただいた中で、またそれをたたき台にして、委員会の方針を書きたいというふうに考えています。そのときには、また委員の皆さん方から意見を出してもらって決めていくという形になりますので、そのときはまたよろしくお願ひします。</p>
<p>議長(市長)</p>	<p>フッ化物洗口については、南部保健所からの強い要望があって、運営委員の委員としてその話があって、また久米島の事例とかを聞いて、これは絶対やるべきだということで、そしたら南部歯科医師会からも強い要望があって、教育長としても勉強をして、やはりこれはやるべきだということで、今回スタートするのですけれども、多分僕が思うには、座安小学校ととよみ小学校が始まると、ほかのPTAの保護者から「何でうちの学校はやらないんだ」という声が僕は高まると思っています。モデルになりますので、多分、すぐにぱっと広がるはずですから、それがいい意味で広がればいいのかと思っております。</p>
<p>国吉委員</p>	<p>ちょっと耳に挟んだのが、この虫歯になりにくいというその効果にあるということは確認できているけれども、将来歯の色が黄色くなったりどうのこうのということでのマイナス面もあるというのをちらっと</p>

	耳に挟んだのですが、これは具体的にどうなのですか。
議長(市長)	これは、では確認しましょう。
国吉委員	それを聞いてやめたところもあると聞いたのですけれども。
学校教育課長	これは永久歯に生え変わりの時期に、もしくはそ生える時期が水とか、海外では水道水に混ぜていたり、そもそもシンクで使っている水道の中にフッ素が多く含まれていたりする地域がありまして、それに加えてさらにフッ素を取り過ぎると、斑状歯という言い方をするのですけれども、取り過ぎるとそういったことが起こるといことが言われています。かつて宜野湾は、昔、水道に混ぜた時期が少しあったというふうに聞いておりますが、現状でいうと、今全国的な動きで見ると摂取量、水道だけでも本市の水道はちょっと調査をしましたけれども、ほとんどフッ素が含まれておりません。環境基準値も全然基準値以下になっておりますし、実際そのフッ素をいっぱい取るようなタイプではです。ただ、ぶくぶくするものを毎回ずっと飲んでいると、もしかしたらなるかも、それでも基準値には全く足りないの、とっても大丈夫な量にはなっているの、そこは現実的な心配としてはないかと理解をしているところですが、地質的にフッ素が多くて、さらに取り過ぎてしまっている、ずっと地域的にフッ素の高いところについてはそういった懸念があるけれども、一般的に言うところには問題がないというようなことが日本口腔衛生学会、今年から医学会のほかでもその報告書が出ていて、そこら辺で多分証明されているかと。
国吉委員	その辺をやっぱりちゃんと説明がほしいのですけれども、そういう疑問を持ちながらやっている。これを丁寧に説明してあげると、そこはまた納得もしやすいのかというふうに、今、話を聞く感じました。
学校教育課長	そうですね。
国吉委員	よろしくをお願いします。
教育長	これは、週に1回なんですよね。
学校教育課長	はい。
新垣委員	毎日ではないんですか。
教育長	週に1回です。
学校教育課長	2つ方法があって、水道等で毎日やるパターンと、週一で少し濃度が高いバージョンで、今回うちが考えているのは週に1回。
新垣委員	週一でも効果はあるというデータがあるのですか。
学校教育課長	はい。フッ素自体が、このフッ素洗口でその薬剤が効くわけではなくて、イオンの効果で再結晶化。その薬品がつくわけではなくて、その再結晶化しやすい環境を口の中につくっていくということで、濃度の高い

	<p>ものであれば週1回で大丈夫ということが、学会の指針の中で出ています。多分、反対派の方々が言っているのは6歳未満の人には、WHOは推奨しないとやっているのですけれども、これは何でかという、フッ素の濃度の高い地域にいる子どもたちも全世界にいるので、余り取り過ぎると歯の生える時期にもしかすると間違っ飲んでしまう可能性がある、ちょっとそこはお勧めしないですと言っていますが、本市については小学校に上がったからのことをやりますので、とよみ幼稚園は練習しているからいいのですけれども。ですので、そこはおおむね医学的などころはクリアをしているかなというふうに、今この資料を読んでいる限りでは、理解をしているところです。</p>
新垣委員	<p>保護者にとってはありがたい話ですよ。そういうのを取り入れていただけると。</p>
議長(市長)	<p>それに関連するのですけれども、今年の10月から県が実施したらという条件つきなのですけれども、医療費の窓口無料化がスタートするのですが、県が実施するのであれば本市もやるということで、南風原町が先んじて今年度からやっているのですけれども、何が増えたかという、歯のほうの治療費がぐんと伸びたそうです。やっぱり行きたくても行けなくて、それをずっと放置していた。それで、無料なので。</p>
新垣委員	<p>今はもういろいろマスコミでも歯の大切さがとっても、いろいろな健康番組で取り沙汰されているから、歯からいろんな病気に発展すると言われていの中で、やっぱり小さいときから歯を大事に、虫歯をつくらないようにやるというのはとてもいいことだと思います。</p>
議長(市長)	<p>びっくりしたのが、去年10月ごろに報道があったのですけれども、85歳以上の虫歯の罹患率、沖縄県は全国1位。</p>
新垣委員	<p>ワースト？</p>
議長(市長)	<p>ワーストではない。85歳以上は1番いい。ところが65歳以下、ワースト1。イコール死亡率もワースト1。やっぱり歯は大事です。</p>
荷川取委員	<p>家庭によっては、フッ素入りというのをわざわざ使っている家庭もありますよね。歯磨き粉。</p>
議長(市長)	<p>よくよく考えたら戦前生まれの方々は歯を磨くという習慣はないけれども、甘いものを食べてないから虫歯がない。ところが戦後生まれは、もうカマーカマーで甘いものもたくさん。だけど、親が歯を磨く習慣がないから子どももない。その影響で。</p>
新垣委員	<p>なので、今お母さん方は虫歯に対する意識がすごく高くなって、幼稚園生でも全く虫歯が、生まれてから幼稚園まで虫歯がない子というのが結構100名中20名余りとかいたのです。だから、お母さん方はとても意</p>

	識が高いなと思っていたのです。でも中には本当に虫歯だらけの子もいて、家庭のこの意識の差によって違いがあるので、そこを学校教育機関でフッ素で虫歯になりにくくするというのは、大変な子たちを少しでも救うためにいいかなと思います。
教育長	<p>そうですね。これについての内容は、実は去年の南部医師会の中で医者が自分たちがフッ化物洗口を勧めるのは、一番心配しているのは、この判断のできない家庭の子どもたちをどうするかというのが一番の課題なのですよと。やっているほうはいらないですよ。けど、このフッ化洗口をすることによって、そういった子どもたちも救うことになるという思いがあってという話を、実はこの医師会のメンバーの皆さんが話をしていました。</p> <p>しかし子どもたちにおいて、健康ということを真剣に考えているから一生懸命やっているのですと、こういうところを理解していただけませんかという内容でありました。</p>
議長(市長)	これは学校で歯科検診のときにわかるんでしょうね。
新垣委員	ですね。極端なんですよ。
議長(市長)	3割は貧困世帯の子どもと言われてますから、もう3割は間違いなく虫歯だと。
荷川取委員	幼稚園、小学校では、検診の後に虫歯ゼロ何人という表彰をしますよね。この記録をどういうふうにこれからやっていって、報告をしてもらって、どうなっていくかなと調べてみるのもおもしろいですね。これから。
議長(市長)	久米島はもうゼロと言っていますよね。
新垣委員	本当に、高校生も虫歯ゼロというからすばらしいと思って。
議長(市長)	たまに何名かいるそうなのです。聞いたら転校生だそうです。
新垣委員	そういうふうに豊見城も歩んでいけたらいいですね。歯医者さんは大変になるけれども。
議長(市長)	でもさっき言ったように、もう無償化がありますから。結構対応する人が増えてきます。
新垣委員	定期検診に行くだけでもね。
議長(市長)	<p>ほかにその他で、委員の皆さんから何か。</p> <p>さっき僕がもう1回会議はありますかと聞いたのは、あるのであればそのときでよかったのですけれども、新垣委員がもう3月いっぱい終わりますので、今回でもう最後になるのかなと。終わった後も、懇親会をで。</p>
学校教育課長	贈呈式の後に。

議長(市長)	贈呈式の後にもたまたまあるのですけれども、もし何度でも構わないと思いますので、お一言、4年間を振り返って。私にじゃないですよ。皆さんに。
新垣委員	皆さんとはしょっちゅう会うので、市長との会議はこれで最後です。本当に教育会議という市長を交えてのこういう会議が開かれて、とてもこれはいい制度だと私も思いました。本当に、普段はなかなかこうやって身近でお話をすることもできない市長と、こうやって身近なことをお話しして、市長のお考えも、そういうことも考えてらっしゃるのだとわかる機会ができたし、とてもこれはいい制度だと思って、この制度ができるときにまた委員を務められてよかったと思っています。これからも期待していますので、市長、頑張ってください。皆さん大変お世話になりました。また最後に。
議長(市長)	よろしいですか。PTAとして何か報告事項とかないですか。大会とか。
安里委員	PTAからは、県の大会も、今度の…。
議長(市長)	名護でだったの？
安里委員	そうです。名護での大会が、先週にですか、土日ありましたけれども。PTAの、教育現場とはまた違って、お父さん、お母さんの子どもに対する問題とか、いろいろ議論されるのですけれども、PTAというのは答えがない世界なので、基本的に。どうすればいい、ああすればいいと何か濁されて答えがないまま終わっていくというのが大概なのです。だから学校との関係を親がどうやっていくかという問題とか、子どもを育てるために一番何がいいのかとか、各家庭で違うやり方があると。結局、いつも振り返って見ると、やっぱり親がしっかりしないといけないというところにしかたどり着けないような気がしています。こうやって教育の現場で皆さんと一緒に子どもたちのために授業で、やっぱり学校の教員の先生との問題とか、いろいろやっていますけれども、もう少し僕が目線からすると、皆さん方には親の考えをちょっと見たい場所があったら、もっとリンクしていいような方向に向かわれるかなという、僕はしみじみ感じたりはします。そういう意見交換会なり、そういった各お父さん、お母さんがこういう取り組みをしていますよというのは、多分市内においても1割いるかいないかぐらい、もう考える人がいないのかなという気がします。これがまた多くの方々の父母会に、PTAの皆さんが、教育委員会はこういうことをちゃんとしていますという報告とか、何かそういう場所があれば、どの学校でも親とのかかわり方も変わってくるのではないかと、毎回気はしています。そこら辺は皆さん

	<p>に検討いただいて、そういう場所をちょっとつくってほしいと大会に行くたびに感じるのです。だから、僕もPTAとして行って基本的に見ていたものが、やっぱり教育委員会の中に入って、ある部分の取り込みとかをやっているのを見ている立場でまた見ると、違う意見が出てくるといふ。今はそこじゃないんじゃないみたいな、勝手に思ったりして。そういう現場もありますので、取り組みというか、子どもに対しての今は「家～なれ～運動」とかですね、教育委員会も「早寝早起き朝ごはん」をなさっています。一つの取り組みを一生懸命させるということに対して、ああ必要だなと思った。あれこれやるより徹底してこれをやってみなさいという訴え方のほうが子どもは変わっていくのかなという感じで、今回の大会も見させていただきました。以上です。</p>
議長(市長)	<p>今の話で思い出したのですけれども、先日、今話したように一つのことをという話が、マラソンの有森裕子さんの講演会が実はありまして、市町村長対象で。非常にいい話で、ある先生との出会いで救われたという話だったのですけれども、いろんな話があったのですけれども。というのも、もうこれができない、あれができなくても、何か一つできたらいいんじゃないと、そこを褒める先生がいて、その褒める先生がいたから陸上を始めた。陸上を小学5年生から始めたのだけれども、全く記録も出せない。中学校へ行って陸上を続けて、特に記録を出したわけでもないけれども、陸上をやりたい。その思いの一心で、私立の岡山県の就実高校という名門に入って、入ったのはいいのだけれども、その陸上部はスカウトした子以外は入れないという方針があって入れなくて、だけど入りたい。今だったらストーカー、監督のところをずっと追っかけて、目に留まるようにして、何か月後ぐらいにこの監督がまいったして、入りなさいと。そこでもずっと補欠、記録も出していない。だけど、この監督が君はすごいと。だから、将来まで続ければ花開くかもねと、半分冗談、半分本気で言って、それを信じてまた日本体育大学へ行って、日本体育大学へ行ったら、やはりここでも記録を出せたのでもない、普通の選手。だけど、また陸上をやりたいくなって、じゃあどこがいいかといっているいろいろ探していたら、たまたま友達が「リクルートが今度陸上部を立ち上げるみたいだから、そこへ行ったらいいんじゃないの」と言って、リクルートを自分で調べて、埼玉にあつてそこにはがきを送つて、私はこうこうこうで、陸上をやりたいですと。その送つた相手が、キューちゃんの監督だった小出監督で、小出監督がリクルートを強くすると来て、この名前どこで会つたのかなと、とりあえずじゃあ来なさいということで、埼玉に呼んで会つて、「ところで君はどこで、どういう記録</p>

	を出したのですか」と「いえ、どこでも記録は出していません。陸上やりたいだけです」と。そしてもう困ってしまって、そしたらまた電話がどんどん来るじゃないですか。電話番号を覚えてしまって。それでやりとりをしていたら、困ったな。でもリクルートの方針として、全国レベルの選手を集めて、これから勝っていくのだからということだめだと。だけど、小出監督がリクルートの役員を説得して特例で認めて、そしたら一、二年で結果を出して、銀メダル。だから絶対諦めたらだめだよということ。一つのことをしっかり伸ばしてあげる。親も、指導者もという話で感動しました。最初はこの経歴から見たら、余りおもしろくないだろうなという感じだったので、びっくりです。最初生まれたときには、股関節が脱臼していると。それで、もう運動は親ができるだけさせないように。こういう講演会の予算はないんですか。
生涯学習部長	ついでのとときに何かコラボして、こういったのをついでに。次の講演者は誰なのかということでリサーチして、一緒に設定するとか、翌日設定するとか。
議長(市長)	本人もその高校の指導者のときに感極まりましたね。亡くなって。高校の指導者が、日本体育大学にスポーツ推薦枠があるじゃないですか。記録がないものだから、この子は頑張るだけは誰にも負けないみたいな推薦書を書いて、日本体育大学は就実高校の監督の紹介だから。
荷川取委員	有森裕子さん、自分の飲み物をマラソンの途中、端っこに置いた方ですよね。投げるのではなくて。そうやっているときに、すてきだなと思いました。
議長(市長)	という話でした。
荷川取委員	市長、教育長、お願いと夢があるのですが、いいですか。 私は平成25年度から委員会にお世話になっていまして、その出勤のときに、すごい違和感を感じたことがあります。遠い駐車場から歩いてくる人がたくさんいますよね。学校のようにいつものとおり、「おはようございます」と言うと、誰も振り向かないのです。あれっと思って。
議長(市長)	ロビーの？
荷川取委員	いいえ。ずっと奥の駐車場だったのです。最初。何駐車場かな。
学校教育部長	ちょっと離れた駐車場？
荷川取委員	離れた駐車場。そこからたくさんの方が歩いてきますよね。朝。そこから通りながらいっぱいなので、「おはようございます」と声をかけるけれども、誰も言わないからあれっと思いまして、玄関に入って「おはようございます」というけれども、余り振り向かないというか、誰も言わなくて、会うたびに言ってきたのですが、何かすごく違和感を感じて、

	<p>「おはようございます」が余り聞こえない朝。あとは変な気持で自分になってしまって、本人も何か変だなと言わなくなってしまって、知り合った人だけは大きな声でお互いできるようになったけれども、今、地域で歩きながらとか、あるいは子どもたちの出入りのときに声をかけていくのですが、小学校は元気よく挨拶をするのです。残りは、あれっと思いつながら、「こんにちは」とかをすると子もいます。部活の子どもたちは意外と元気よく挨拶をしますが、何か本市が挨拶がすごいよ、地域もすごいよというのが、役所からそういうこの雰囲気、それがあればいいなととても、学校側から見ると静かすぎて朝の元気さがないというのか、それを感じたので、学校から来た人は多分感じるかな。ここで勤務をした場合に、何かそれが今度また豊見城市はすごいんだよと、役所を初め地域の挨拶がもっともっと活発で、明るくなればいいかなと思っています。</p>
議長(市長)	これはもう言い続けるしかないと思います。
荷川取委員	今は何か恥ずかしくなっているのか、やっぱり子どもの気持ちが変わるなと思いました。みんながやらなくて、自分がおりこうさんしようとしてもできない。何人かがいたら少しはできるというのかな。そういうのも感じて、朝みんな、市長初め教育長、課長、玄関で挨拶運動を一月に1回やっていますよね。そのときにみんなはどうかなと、私は「おはようございます」と声を出しているつもりですが、みんなはどうなんだろうとか、ちょっと市・課、全部そういうのがあったらいいかなという希望があります。
議長(市長)	よく言われるのが、民間と全然違うよねとよく言われますので。
教育長	荷川取先生、採用試験のときの面接のときに見に来てください。
議長(市長)	話はちょっと変わりますが、今回教育の予算は本当に切れる予算が全くなくて、ほぼ要求どおり。ところが市の今、財源は非常に厳しくて、基金がありますよね、貯金。財政調整基金と減債基金、自由に使える基金がありますけれども、これまで大体20億円を推移していて、予算を組むときに8億円くらい毎年取り崩して、一応予算を組んで、その後決算剰余金とかいろいろあるので戻して、また20億円に戻していたのです。平成29年度、今年度8億円取り崩して、14億円に今減っていて、また戻したりしていたのですけれども、今年度は戻しきれていなくて、14億円しかないのですけれども、今回予算は11億円くらい足りない。だから14億円から幾らか取り崩してやると、もう1桁台になる、今の状況です。では来年、再来年は予算が組めないのではないかという心配もあるのですけれども、売る土地もありまして、それを今売る予定が

	<p>あつて、それを売れば基金に積み戻せる。でも、では再来年以降はどうかということになると、やっぱり行革もしながら取り組んでいきます。</p> <p>あと、これは豊見城だけに限らず他市町村も一緒なのです。他市町村も厳しい。だけど豊見城はこれから、今日もDMM. comが来ていましたけれども、大きな水族館をつくろうと。ホテルは、僕が聞いているだけで6カ所計画があるのです。もう既に国道沿いには1つ今建築中です。Mr. K I N J Oが。建築は地主がやっていると思うのですけれども、Mr. K I N J Oが運営するというので、それ以外に6カ所、これがバイパスができるまでにはほぼ完成するのではないかということです。今、用途の市街化の見直しをしたのが、109ヘクタールあったんです。どんどんまたアパートも建ち始めています。職員には、あと二、三年は厳しいけど頑張るとい話をしたんです。一括交付金がなくなったときに、支援員のこの予算をどうするのかとか、継続できるように国にも要請していきます。</p>
学校教育課長	この前、教育委員会のあとの総合教育会議の前には、定例教育委員会でしたら。
議長(市長)	では、締めは誰がされるのですか。
学校教育課長	締めは議長で。
議長(市長)	はい。予定は2時間でしたけれども1時間10分で、教育委員会の後の総合教育会議ということで、お疲れさまでございました。また、これからもよろしく願いいたします。本日はありがとうございます。